

「中学校での特別授業実施」

2022年9月9日、北海道厚真町立厚南中学校にて、弊社社員（技術本部解析技術室所属）が講師として迎えられ、地震計と地震観測についての特別授業を行いました。

同中学校には防災科学技術研究所が設置した地震観測施設があり、今回の訪問は、地震観測点における微動アレイ探査を目的としたものです。特別授業は、同中学校の理科の先生からのご依頼を受けてのものでした。23人の生徒さんが地震計の仕組みや役割に関する知識を深めました。



2018年の北海道胆振東部地震は、厚真地域で震度7を記録する大地震でした。4年経った今でも、避難訓練で校庭に避難した後、恐怖感から教室に戻ることができない生徒もいるという話をうかがっており、そういう状況で地震についてお話をすることに戸惑いもありました。しかし、先生方の「地震を怖がるのではなく克服して生きていって欲しい」という思いをうかがい、地震の恐ろしさを強調するより、「知った上で正しく恐れる」ということを伝えるつもりでお話ししました。

授業終了後、生徒さんの作成したレポートを先生に見せて頂いたのですが、裏までびっしりメモや感想が書かれており、興味を持って話を聞いて頂いたようでした。また、先生方からも「地震について改めて興味を持つきっかけとなった」との感想を頂きました。

微動調査にご協力いただいただけでなく、学校で授業を行う機会をいただけたことは、弊社にとっても貴重な経験になりました。

—授業で使用した資料抜粋—

